

## 「ベセスダシステム 2001 準拋子宮頸部細胞診報告様式 (通称：ベセスダシステム、あるいは医会分類) についてのお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、貴施設におきましても婦人科子宮頸部細胞診のベセスダシステムの導入が4月に迫り対応に追われているのではと思います。

当社におきましても、現在ベセスダシステムの導入に向け、細胞検査士を含め社員研修会等を行い準備に追われております。

今後、当社におけるベセスダシステムの導入と報告書への記載につきまして以下の通り変更させていただきます。

先生方にはご不便をお掛けする場合もございますが、何卒ご理解ご了承の程、宜しくお願ひ申し上げます。

敬 具

2009年3月

### ① 当施設におけるベセスダシステム導入について

旧日母分類(Class分類)は問題点を指摘されつつも長期間にわたり使用されてきた分類であり、4月より全ての細胞診婦人科検体報告書をベセスダシステムに切替えた場合、施設によっては混乱を招く可能性がある為、当面、市町村の検診用紙以外の報告書については、従来通りの旧日母分類を使用し、ベセスダシステムによる報告を希望なされる御施設には旧日母分類との併記をさせていただきますので、お手数ですが担当営業までご連絡下さい。

### ② ベセスダシステムの結果記入について

ベセスダシステムの判定につきましては、裏面における略語を採取部位と共に従来の報告書コメント欄に、また標本の適否については不適の場合のみ、判定不能としコメント欄に標本不適の判定と不適理由を記述させていただきます。

**ベセスダシステム対応開始期日：2009年4月1日(水) 受付分より**

\* 詳細につきましては裏面を御参照下さい。

●細胞診結果 その1:扁平上皮系

結果	略語	推定される病理診断	従来ofクラス分類	英語表記	運用
1) 陰性	NILM	非腫瘍性所見 炎症	I、II	Negative for intraepithelial lesion or malignancy	異常なし: 定期検査
2) 意義不明な 異型扁平 上皮細胞	ASC-US	軽度扁平上皮 内病変疑い	II-IIIa	Atypical squamous cells of undetermined significance(ASC-US)	要精密検査 ①HPV検査による判定が 望ましい。 陰性: 1年後に細胞診、 HPV併用検査 陽性: コルポ、生検 ②HPV検査非施行 6ヶ月以内細胞診検査
3) HSILを除外 できない異型 扁平上皮細胞	ASC-H	高度扁平上皮 内病変疑い	IIIa-b	Atypical squamous cells cannot exclude HSIL (ASC-H)	要精密検査: コルポ、生検
4) 軽度扁平 上皮内病変	LSIL	HPV感染 軽度異形成	IIIa	Low grade squamous intraepithelial lesion	
5) 高度扁平 上皮内病変	HSIL	中等度異形成 高度異形成 上皮内癌	IIIa IIIb IV	High grade squamous intraepithelial lesion	
6) 扁平上皮癌	SCC	扁平上皮癌	V	Squamous cell carcinoma	

●細胞診結果 その2:腺細胞系

結果	略語	推定される病理診断	従来ofクラス分類	英語表記	取扱い
7) 異型腺細胞	AGC	腺異型または 腺癌疑い	III	Atypical glandular cells	要精密検査: コルポ、生 検、 頸管及び内膜細胞診 又は組織診
8) 上皮内腺癌	AIS	上皮内腺癌	IV	Adenocarcinoma in situ	
9) 腺癌	Adenocar- cinoma	腺癌	V	Adenocarcinoma	
10) その他の 悪性腫瘍	other malig.	その他の 悪性腫瘍	V	Other malignant neoplasms	要精密検査: 病変検索